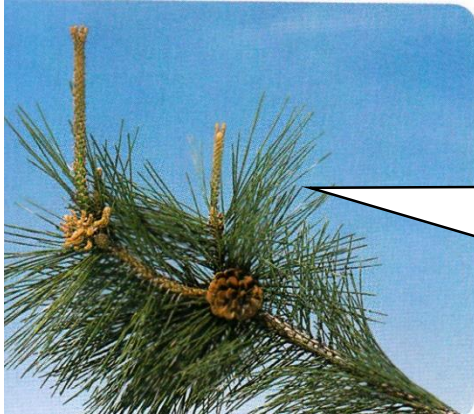


裸子植物・被子植物 (教科書 P30～P31)

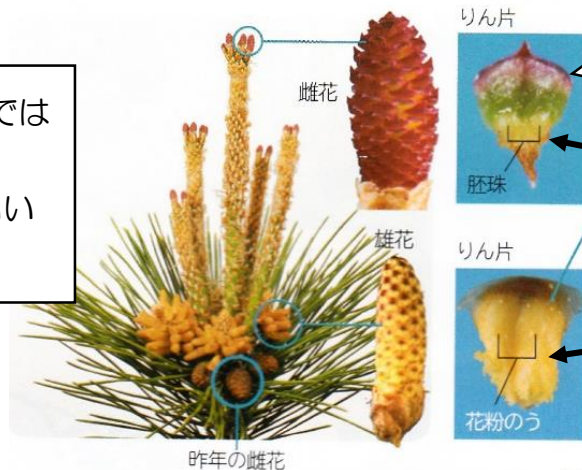


これは何だかわかりますか？

答えは「マツ」です。

マツの花についてみてみましょう。

マツはめしべ、おしべではなく、「雌花（めばな）」
「雄花（おばな）」といいます

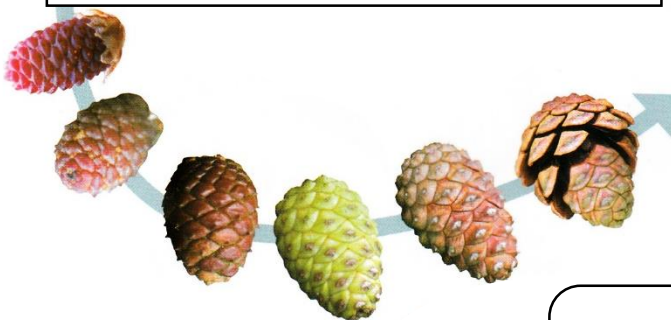


雌花は「りん片（ぺん）」
というものがたくさん集
まってできています。

雌花のりん片には胚珠
があり、雄花のりん片
には「花粉のう（花粉
がはいっています）」が
あります。

マツの花も受粉をします（風で花粉が運ばれるので風媒花）

受粉から種子ができるまで



種子が入っているところ
「まつかさ」
まつぼっくりのこと

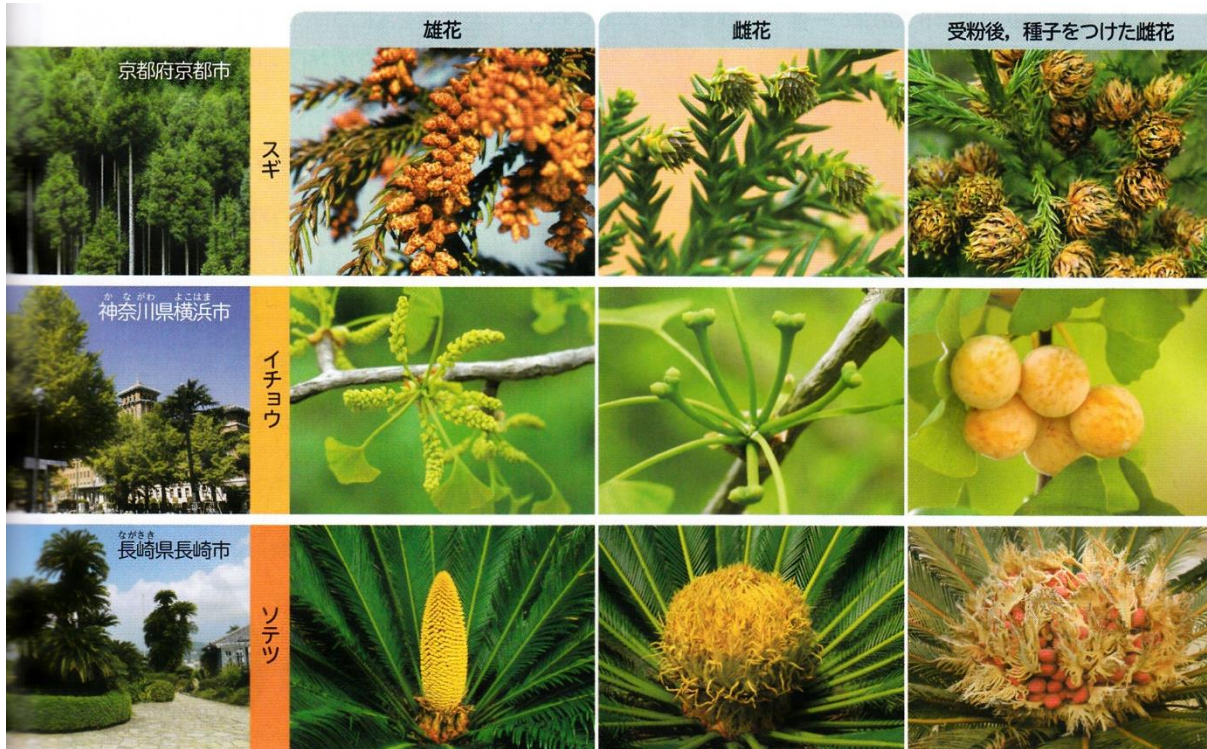
マツの種子は風で飛ばされ
やすいように翼がついて
います。



マツの花のように、「胚珠がむきだしの状態（子房がない）」植物を

「裸子植物（らししょくぶつ）」という。

裸子植物で覚えてほしいのはマツ以外に下図の3つです。



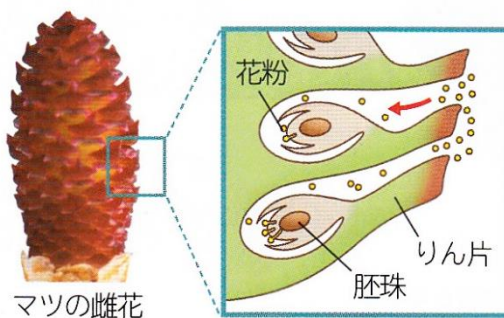
課題4で学習したアブラナやサクラなど胚珠が子房におおわれている植物は

「被子植物（ひししょくぶつ）」といいます。

裸子植物と被子植物を図で比較してみましょう。

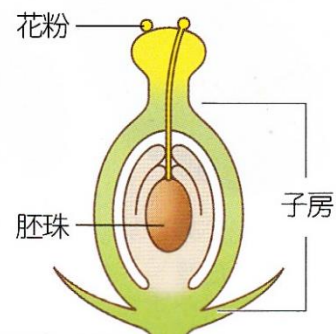
裸子植物

花粉は直接胚珠につく。



被子植物

花粉は直接胚珠につかない。



ワークP7の3、P8の2

動画もみてね！